



2019年4月26日

各 位

上場会社名 株式会社 カワタ
 代表者 代表取締役社長 白石 亙
 (コード番号 6292)
 問合せ先責任者 執行役員管理部門統括 橋本 真喜
 (TEL 06-6531-8211)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年10月26日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	2,000	2,000	1,450	204.75
今回修正予想(B)	24,576	2,304	2,323	1,676	236.66
増減額(B-A)	1,576	304	323	226	
増減率(%)	6.9	15.2	16.2	15.6	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	20,336	1,124	1,029	909	128.44

2019年3月期通期個別業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,000	600	700	550	77.66
今回修正予想(B)	11,884	888	1,109	720	101.67
増減額(B-A)	884	288	409	170	
増減率(%)	8.0	48.0	58.4	30.9	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	9,801	253	321	492	69.50

修正の理由

【連結業績】

連結業績につきましては、売上高は日本、東アジア、東南アジアの各セグメントにおいて、自動車関連や電子部品関連の需要が好調であったこと等により、前回予想を1,576百万円上回る24,576百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前回予想を304百万円上回る2,304百万円、経常利益は前回予想を323百万円上回る2,323百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を226百万円上回る1,676百万円となる見込みです。

【個別業績】

個別業績につきましては、2018年度の生産や設備投資は回復基調となり、自動車関連や電子部品関連の需要が好調であったこと等により、売上高は前回予想を884百万円上回る11,884百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前回予想を288百万円上回る888百万円、経常利益は前回予想を409百万円上回る1,109百万円、当期純利益は前回予想を170百万円上回る720百万円となる見込みです。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2018年10月26日発表)	—	14.00	—	14.00	28.00
今回修正予想	—	—	—	15.00	29.00
当期実績	—	14.00	—		
前期実績 (2018年3月期)	—	6.00	—	12.00	18.00

修正の理由

当社は、安定的な配当維持と業績向上に伴った株主の皆様への配当(利益還元)を充実させることを経営の重要政策のひとつとして位置付けるとともに、中長期的には安定した事業成長を図り株主価値を持続的に向上させるため、事業の進展状況等を勘案し新規事業開発や戦略投資等に内部留保資金を投下していくことを基本方針としております。

当期は通期業績予想が前回予想を上回ったことに加えて、中長期的な自己資本利益率(ROE)の向上及び安定的な自己資本配当率(DOE)の確保と、今後の事業リスクや戦略投資に備えての内部留保の充実等を総合的に勘案し、当期の1株当たり期末配当予想を14円から15円に修正いたします。

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上